

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.45 2011.5.15

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX 011-887-7006
URL <http://kikusui-net.jp>



福まち通信



菊水地区福祉のまち推進センター 運営委員会開催

4月8日午後4時より菊水地区会館において平成23年度の標記運営委員会が開催されました。福まち運営委員、来賓としてまちセン所長と白石区社会福祉協議会事務局長および次長、関係機関として白石区第二包括支援センター並びに介護予防センター

きくすいの関係者などの出席を得て会議が行われました。

福祉のまち推進活動は、地区社協活動の実践組織として住民主体で行われてきました。その運営は、住民組織の役員だけではなく、今や活動の中核となっている「ふれあい交流会給食担当のご婦人たち」や、「よつクロ編集委員たち」などのボランティアの熱意に支えられています。

会議は平成22年度の事業内容や予算の使用状況の報告があり、



開会のあいさつをする細野委員長

続いて今年度の事業計画についての発表がありました。特筆すべき新規事業はありませんが、従来の事業の質的向上、特に町内会・民生委員協議会・青少年育成委員会などとの連携の強化や福祉関係機関との協働が重視されています。

福まちの一年をふり返る

福まちの活動は「ふれあい交流会」のようなイベント事業と「見守り活動」に代表される日常活動、それに研修・啓発や情報提供の三つがあります、



説明をする佐藤事務局長

医療情報キットの配布と見守り活動

昨年の新規事業として先駆的に取り組んだものに「緊急時医療情報キット」の配布がありました。

これは右の写真にあるようなプラスチックの筒に、緊急時に役立つ医療情報(病歴、かかりつけ医師、投薬状況、医療保険証写、緊急時連絡先など)を入れて冷蔵庫に保管し、救急隊員が個人の医療情報を容易にまた確実に入手できるためのシステムに使う道具です。



救急キット

とりあえず一人暮らしの高齢者全世帯を対象に、民生委員、町内会役員(福祉推進員)の手で、一人ひとりにお配りしました。

まず高齢者自身に緊急時に備えた「自助」努力を行ってもらい、続いて福まちの活動として日常的な見守り活動を行う「共助」につなげていくのが目的です。

高齢者のふれあい交流会

家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、参加者同士の交流と心身のリフレッシュを目的に、年2回開催しています。その内容は、午前中に「健康体操」、「閉じこもり予防」「介護保険の利用手続きを知ろう」などの寸劇や、保健師さんなどによる「血圧測定や健康相談」が行われました。手づくりコーナーでは簡単な工作やゆび編みなどに挑戦しました。



お昼にはボランティアのご婦人たちが手づくりの美味しい昼ご飯を頂きながら、参加者同士交流を深めました。午後からは演芸を楽しみました。第1回目には伝統芸能の「南京玉すだれ」と「マジックショー」、第2回目は、「梅后流江戸芸かっぽれ」と「ハワイアン・ダンス」でした。



毎回、福まちボランティア、民生・児童委員協議会、菊連協女性部などのご協力を頂いています。

子育て支援事業(子育てサロン)

子育てサロンは、0歳から小学校就学前までのお子さんとお保護者の方が自由に集い、あそび、交流できる場です。

菊水地区には市立青葉保育園や菊水やよい児童会館において行う公的子育てサロンのほかに、地域で運営している子育てサロンが三つあります。そのうちの一つである上白石小学



ある日のぶりんぶりん

校を主会場として行う子育てサロン「ぷりんぷりん」に対して運営費の補助を行っています。このサロンは地域のボランティア団体が上白石小学校との共催で行っており、小学生も参加するユニークな運営方法をとっています。

🍀 福まち研修会事業

福まち役員、ボランティアや民生委員などを対象に、福まち活動を進める上で必要な基礎知識を習得するための研修を年2回行いました。

1回目は「町内会活動と民生委員の連携について」、2回目は「民生委員・福まち・町内会の連携強化について」をテーマに社会福祉協議会の職員を講師に実施しました。



第2回福まち研修会の様子



🍀 広報・啓発事業

月刊福まち通信「よつ葉のクローバー」は、前年度には32号から43号を発行しました。愛称「よつクロ」は福まち活動を広くお知らせする情報紙として町内会回覧により皆さんに見ていただいているほか、地域内の福祉関係施設や団体に配布しています。そのほか菊水地区のホームページや白石区のホームページにも掲載しパソコンで見することもできます。

新年度では現在800部印刷していますが、これを1,000部に増刷することを検討しています。

菊水地区のホームページは一昨年の秋に公開されましたが、内容が充実していると好評をいただいています。福まちはその中の「福祉のページ」を担当し、適宜内容の更新を行っています。



🍀 お年寄りと子どもの交流会

地域でのお年寄りとお小さな子どもたちが、右の写真のように「輪投げ」や「ボウリング」などの遊びを通じて交流を深めています。

実施主体はネットワーク会議の福祉部ですが、福まちとしても地区子供会、やよい児童会館などと一緒にお手伝いさせていただいています。



🍀 いきいき・すこやかサロン

福まち事業の一つとして、地域の高齢者が気軽に楽しく仲間作りができるサロンの開設を進めています。

菊水地区のサロン第1号として「お茶の間サロン・チャオ」が平成20年9月に開設されていますが、これに引き続き22年12月に「すこやかサロンP・G」が、今年の3月には「サロン四ツ葉」が開設されています。



お茶の間サロン・チャオ



すこやかサロンP・G



活動内容の表彰

札幌市で福まち推進事業が始まって昨年で15年になります。この事業発展を願って、昨年9月13日に「かでの27」のホールで記念式典と「地域福祉市民活動フォーラム」が開催されました。これに先立ち、「福まち活動写真及び広報紙コンクール」の結果発表と表彰式が行われました。菊水地区からは、ふれあい交流会の活動写真と今年の「福まち通信5月号」を出品しましたが、そのうち活動写真が**審査員特別賞**を頂きました。



作品展示会場での記念写真

また、白石区社協だより67号の表紙の写真に採用され、全区に紹介されています。



サロン・四ツ葉誕生

4月30日、菊水地区で三番目の「サロン・四ツ葉」が誕生しました。



サロン・四ツ葉の皆さん

があればサロンでもとり入れていきたいと楽しそうに話されました。

会場を菊水6条4丁目3-10 東町福祉会館内「福まち事務所」とし、月1回午前10時から2時間サロンを開くことにしました。

代表は佐伯正二さん(写真右から4人目)で、最初のサロン構成メンバーは「老人クラブ紅葉会」の方々です。

開催内容は、菊水東町地域の60歳以上の方を対象に指体操・絵手紙・粘土細工・麻雀・囲碁・将棋などを行い、ふれあい交流を図っていくそうです。

その中でも、代表の佐伯さんお得意の粘土細工(写真下)は見事な作品で、老人クラブでも製作の実績があり好評だったので、機会



粘土細工の作品群

参加者は10数名を予定し、**毎月第4土曜**に開催します。

参加者には**運営費一回100円**を負担してもらいます。

参加ご希望の方は、**連絡責任者小田誠一さん**にご連絡ください。

連絡先 菊水8条3丁目1-10 電話 833-4694

編集委員の交代

今年の4月から東地区の関口編集委員に代わって**小田誠一氏**が就任しましたのでご案内します。



小田さんは4年前から菊水東町老人クラブ紅葉会の会長を引き受け、高齢者福祉に情熱を注いでおられます。

よつクロ編集委員名

編集委員長	折原 政幸
総括編集委員	枝元 政肇
東地区編集委員	小田 誠一
西地区編集委員	鈴木 利勝
南地区編集委員	山内 勝
北地区編集委員	折原 政幸
上町地区編集委員	谷内山与惣吉

筋トレ始末記

先月の44号でお知らせしました、特定高齢者に対する介護予防サービス事業の結果についてご報告します。

私枝元は3月でトレーニングを終え、計画通りに杖歩行をやめることに成功しました。傘寿80歳で生まれ変わった気分です。



トレーナーの女性と一緒に

編集後記

3月11日の東日本大震災から二月たとうとしています。千年単位で起こった未曾有の惨事から学習した知識を、自分たちの地域の防災に生かすことが地域のリーダーたちに求められています。想像力をもって企画し実行していく責任を果たさねばなりません。

総括編集委員枝元のアシスタントとして**品川卓久氏**が編集を手伝って下さることになりました。皆さんよろしくお願いいたします。

(枝元編集委員)

